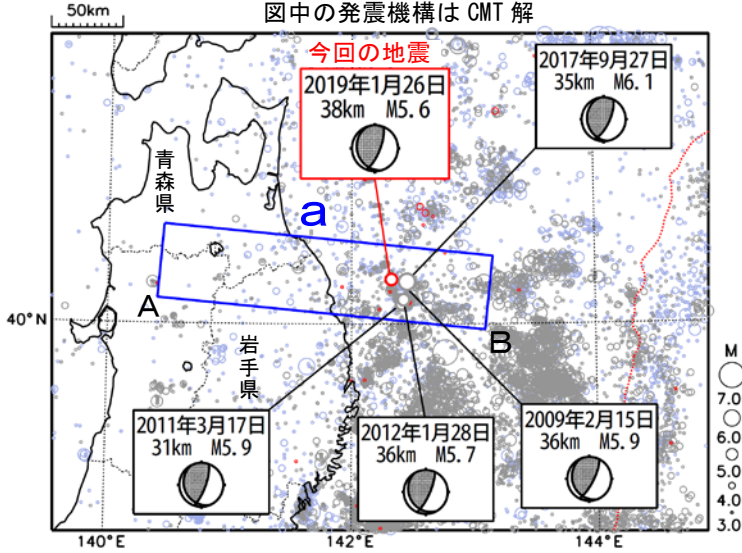


1月26日 岩手県沖の地震

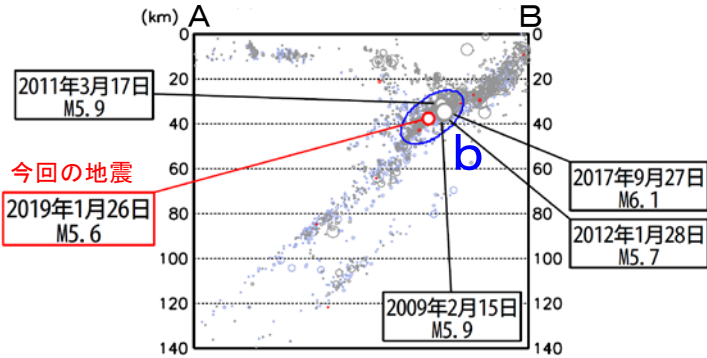
震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日、
深さ0～140km、M \geq 3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、
2019年1月以降に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



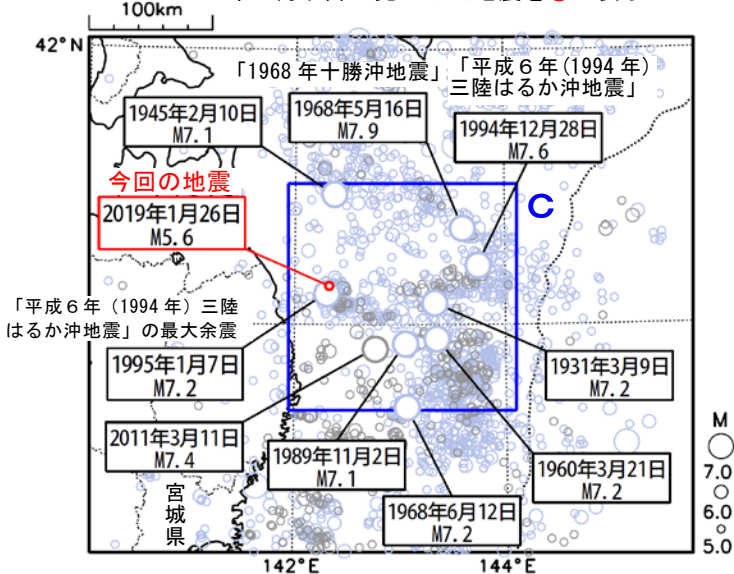
領域 a 内の断面図 (A-B 投影, M \geq 2.0)



震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、
深さ0～100km、M \geq 5.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を○、
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、
2019年1月以降に発生した地震を○で表示

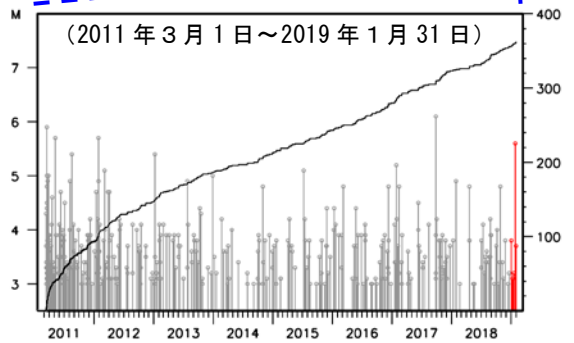
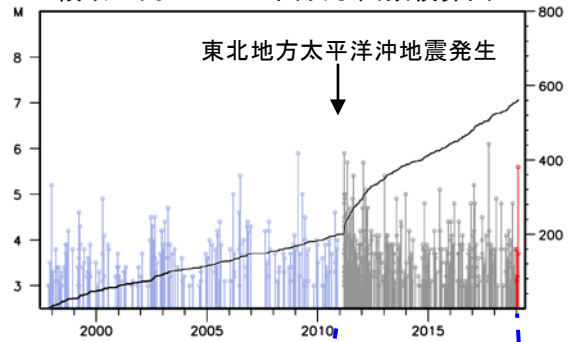


2019年1月26日17時23分に岩手県沖の深さ38kmでM5.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0を超える地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、東北地方太平洋沖地震)の発生以降、地震の回数が増加し、M5.0以上の地震が13回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1994年12月28日に「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6、最大震度6)が発生し、青森県八戸や岩手県宮古で50cmの津波が観測された。この地震により、死者3人、負傷者788人、住家被害9,522棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

